

横浜港の安全と美化のために 5隻の清掃船が、本日も絶賛運行中！



ジェット水流をおこし、海水ごとゴミを吸い込む『青海丸』。他に、船底にある熊手のような装置でゴミをかき集めるタイプの船もある。撮影：豊田直之

そしてやってきた、初夏の横浜港。旅客船、コンテナ船、タンカーや屋形船……様々な船が往き来する中、一風変わった船を見つけた。船底にトンネルを持ち、巨大



毎日水揚げされる途方もない量のゴミ。撮影：豊田直之

なカゴを積んだ清掃船だ。清掃船は、横浜に限らず、東京湾では6つの港それぞれに存在し、航行の安全と環境の保全、良好な景観のために働いているそうだ。そして、大岡川の注ぎ込む横浜港のゴミや漂流物を回収しているのは、一般社団法人 横浜清港会。設立は古く、昭和37(1962)年。早速、本牧ふ頭にある現

場事務所を訪ねた。横浜清港会では、現在、5隻の清掃船を、天気次第ではほぼ毎日運行させていて、まだ使用したことのない、油の流出事故に備えた、油回収装置の用意も整っているそうだ。海上部監督の加山武司(かやまたけし)さんによる

と、かつては不法投棄された家電ゴミが多かったが、近年は、川に投棄されたり風で飛ばされたりして流されてきたと思われるゴミが増えたそうだ。ゴミの具体的な種類を尋ねてみると「家庭にあるもので海にない物はない」とのこと。そして、中でも最も多いのがペットボトルなのだそうだ。昨今、『マイボト

ル』持参の人が増えたが、ペットボトルのゴミは、相変わらず増えている。海のゴミを減らすには、街全体と一人一人の美化意識が不可欠なのだ改めて実感した。横浜清港会では、毎年コンスタントに200t(トン)をゆうに超える量のゴミや漂流物を回収し続けている。もしもこれら清掃船が存在しなかったら、横浜港はどんなことに?と想像すると恐ろしくなる。



BROMPTON M3L
color:グリーン/ブラック
変則段数:3Speed 重量:11.6kg
ホイール:16inch
GREEN CYCLE STATION
http://www.gcs-yokohama.com

水辺を生かした店づくりの先がけ。大岡川のせせらぎ、木のぬくもり、ワイン、料理……ここにはいつも、ゆったりとした時間が流れる

『Rigatto』ワインズキッチン リガット

横浜市中区宮川町2-39-4 045-253-6116

本紙春号掲載の『大岡川桜クルーズ』船上から見つけた、日ノ出町駅近くの川沿いにひっそりとたたずむコテージのような店。聞けば、古くからディーブスポットとして有名だったこの界隈に、近年できてきた洒落た飲食店の筆頭らしい。2011年暮れにオープンし、地元の人気店として定着をしている。

料理は、特にフレンチ、イタリアンなどの線引きをせず、ワインに合う料理というメニューの構成で、石釜で焼くピッツアや駿河湾産の魚、各地国産肉、信州野菜を使った料理などが目玉だ。そして、これらの料理が、温かみのある店内の雰囲気とよく合っている。「四季の移ろいの前で、ワインと料理を提供しよう」と、集結



大きな窓から川面を見下ろす、大人気のテーブル席。撮影：豊田直之

したシェフたちが、自ら床や壁の内装や家具の整備をされたからなのだろう。この辺りは以前、女性の一人歩きなど



6月某日『本日のオススメ』から上/真鯛のカルパッチョ ¥850 下/サラミとオリーブ、ホワイトアスパラのピッツァ ¥1,500 撮影：豊田直之

考えられないような場所だったそうだ。川が美しくなることが、清潔で明るい飲食店ができるきっかけとなり、人を呼び、街の美化や安全に貢献をする。そしてまた、これに続く店が現れる。街作りのひとつの理想型だ。リガットという店名は、『ありがとう』に関係するらしい。川沿いでこの店を見かけたら「あ、りがとー!」と呼んで欲しい。

大岡川に、暮らす、働く、学ぶ、遊ぶ、人

一般社団法人 横浜清港会・高木 克之(たかぎ かつゆき)さん

「こちらのコーナーで、ぜひ取り上げて欲しい」という読者からのリクエストにお応えして、横浜港の清掃船『青海丸(せいかいまる)』の船長、高木克之さん。一般社団法人 横浜清港会に入社されて15年、横浜港内に浮遊するゴミや流木などを回収する仕事に就かれている。また、横浜市中区の日ノ出町青年会のメンバーで、数々のイベントでも大活躍し、皆から慕われる。勤務時間が不規則だった前職から、ご家族のためにと転職をされ「いつの間にか船長でした。でも実は、祖父も父も船乗りだったのです」と苦笑いされたが、これはもう宿命的天職な

のだろう。清掃船に乗ると、3つの『楽しみ』があるそうだ。1つ目は、もちろん海をきれいにできること。2つ目は、トビウオの稚魚の群れやウミガメやイルカに遭遇し、生命の循環を日々目の当たりにできること。そして、3つ目は、ゴミ回収のための船の操縦技術を磨くことだそう。潮の流れや風向きを読み、海上を漂うゴミの場所を判断し、それに船のスピードを合わせて、ゴミを取り込む技、岩壁ギリギリのゴミや浅瀬のゴミを回収する技等々、日々の鍛錬と長年の勤によって培われる技の数々を、ゲーム攻略テクニックのように語っていただいた。



「大好きな横浜の海のために働くことが嬉しい」と笑顔で話す高木さん。撮影：豊田直之

また、回収したゴミが、すでに海洋生物のすみかとなっている時や、依頼がありクラグを回収した時は、「これでよかったのか」と葛藤することもあるそうだ。海と生き物に対する愛情は、計り知れない。行政からの委託事業であれ、町会のリバークリーン活動であれ、世の中を変えるのはやはり、個々の『情熱』なのだ。



回収したゴミの分別や運搬など、陸での仕事も多い。撮影：豊田直之

そして、これら『楽しみ』の裏にある大変な苦労は、水揚げされた膨大な量のゴミが物語っている。海に出られない日は、ゴミの分別作業にあたるそうだ



しえあひるずヨコハマ
SHARE HILLS YOKOHAMA
居住空間と展望台のレンタルスペース

https://www.facebook.com/sharehills/

新車販売 車検 板金

加賀美自動車

南区永田南1-4-10
045-741-7321
info@kagami-car.com

湘南太陽会グループは
人々の心とからだの健康を総合的に支援します。

湘南太陽会



毎日診療しているクリニック
鳥居泌尿器科・内科
【金沢文庫】



駅前まで21時まで診療しているクリニック
ねぎし泌尿器科・内科
【横岸】



23時まで診療しているクリニック
相生23クリニック
【関内】



泌尿器科トラブルの総合カウンター
スカイビル腎・泌尿器科クリニック
【橋本】